

夏の学びが花開くのはいつか？

まもなく、夏休み終了から2ヶ月が経過します。特に高校3年生は、夏の間につけていた受験学力が、そろそろ姿を見せ始める頃でしょうか。受験に向けて勉強した人もいれば、一方で部活動に励んだ人もいたことでしょう。激しい体力トレーニングの夏を超え、秋はさまざまな技術が上乘せしていく時期かもしれません。

さて、夏休みの学びの一つであった「オーストラリア語学研修」をご紹介します。9月には、逆にオーストラリアの学生が高蔵に来てくれるなど、多くの人が外国の人・文化に触れる機会があったことと思います。2学期の中間試験を終え、英語学習のモチベーションにしてください。



オーストラリア語学研修の感想①

1年松組 28番 樋口 智也

今年の夏、僕はオーストラリア語学研修に参加しました。僕は自分の語学力がどれほど通用するか試したくて参加することにしました。

初めてホストファミリーに出会った日、僕は今までに経験したことがないくらい緊張していました。コミュニケーションをとろうとしてもうまくいきませんでした。そんな苦しい状態がしばらく続きました。

2日目からは現地の学校へ行きました。授業では日本語が使われることはなかったので、先生の話をいつも以上に集中して聞くように意識しました。すると先生の話している内容が少しずつ理解できるようになっていきました。英語が理解できた時の楽しさや喜びを感じられるようになってからは、毎日の授業がとても楽しくなりました。授業で英語に慣れてからは、ホストファミリーともとても楽しく会話ができるようになりました。そこには確かな成長があったと思います。そして学校生活に慣れてきた頃には友達もできました。その友達はとっても優しく、毎時間昼食を一緒に楽しく会話しながら食べました。

放課後は、ホストファミリーが武道を習っていたので僕も毎日通い、体験しました。当然日本語も通じないし、日本人もいなかったのもものすごく集中していました。幸いに武道の先生は優しい方が多く、英語がほとんどわからない僕にも優しく丁寧に教えてくれました。

週末はホストファミリーとダンデノン山展望台とフィリップ島に行きました。土曜日に行った、ダンデノン山展望台からの眺めは素晴らしく、大都市のメルボルン市内全体を見渡すことができるくらいでした。日曜日はフィリップ島というところでカンガルーなどの野生動物とふれあいました。日本ではこういう経験ができなかったので、とても貴重な経験となりました。

学校最終日、僕は現地の友達から手作りのアルバムをもらいました。ものすごくうれしかったです。彼女のやさしさに感動しました。僕はこの時、本当の親友なんだと気づきました。今回オーストラリア語学研修に参加していなかったら、こんなにも優しい親友はつくっていなかったと思います。たとえ言葉の壁があっても親友ができるんだということを知りました。

苦しみも多かったけれど、楽しさ満載だった今回の語学研修。外国の文化を現地の人から直接聞けたり、外国人の同級生と会話をしたり、オールイングリッシュの授業を受けたりと、日本では絶対経験できないことがたくさん経験できました。旅費を出してくれた両親、仲良くしてくれた仲間、引率してくれた先生、すべての人に感謝です。本当に貴重な二週間でした。

オーストラリア語学研修の感想②

2年榎組 加藤玲奈

私はこの語学研修に行く前は、不安と楽しみですごく複雑な気持ちでした。しかし、実際に行ってみると、大変なこともたくさんありましたが、充実した楽しい生活を送ることができました。

そして、特に自分でも成長したなと思うことが2つあります。1つ目は、やろうと思ったことは後回しにせず、すぐに行動することです。今回の研修旅行では、遅刻が絶対にできない状況でした。普段の生活とは違い、周りにも迷惑をかけてしまうからです。だから、忘れないうちに、やるべきことはすぐにやるようにしました。そのおかげで、日本に帰ってからは決断が早くなりました。2つ目は、コミュニケーション力です。オーストラリアに着いてすぐのころは、私もホストも緊張していて、あまり話していませんでした。そのため、「相手が今何をしたいのか」などが全く分かりませんでした。しかし、話していくうちに相手の趣味などを知ることができ、仲良くなってからは、何か困ったことがあればすぐにホストに話すようになりました。そうすると、ホストはいつでもなんとかしてくれました。やっぱりコミュニケーション力はとても大事だと感じました。

私はこの研修旅行で、英語の勉強だけでなく自分自身が成長できたことが、すごく嬉しいです。初めは不安だらけだった研修旅行でしたが、帰るころにはみんなで号泣するほど仲良くなって、友達の輪も広がったことが嬉しいです。今度は、学校から行く海外ではなく、自分たちで海外へ行きたいです。

観光選手権という全国大会に出場し、銀賞に輝いた井村くん（3桃）、近藤くん（3縦）、高橋さん（2榎）のチームです。ものづくり大国である愛知県の中でも、有松絞りに注目し、有松のお店を巻き込みながら続けている活動の発表をしました。当日のプレゼンテーション力は1番よかったと思います。



オーストラリア語学研修だけでなく、 夏の経験・学びは様々！



スターボックスの高校生企画に参加した生徒もいます。家の近くの店舗で、「高校生のアイデアで、お店をもっと人が行き交う交流の場にしよう」という企画がたてられました。エコやフェアトレードに加え、地域交流に取り組んでいるお店に、意見を提案、実践してみました。

雁道商店街の夏祭りで、演武・演技披露。

高蔵生の多くが通学路として利用している雁道商店街。その夏祭りを盛り上げるために参加した部活動。通りすがりの通行人達が思わず足を止めて観て、拍手で称えてくれました。これもまた、良い経験になりますね。

